

# 各県部会の議事概要

資料2

- 北陸地方における建設界の担い手をめぐる現状や課題に関する認識を共有し、建設界の担い手不足に対し、建設関係団体、教育機関、関係行政機関等が一体となって、担い手の確保・育成の取り組みを推進することを目的として、10月3日 北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会を設立。
- 地域の課題を検討するため、新潟、富山、石川の3県に部会を置き、学生に伝わるコンテンツの具体策などを継続的に検討する各県部会を開催。**

## 開催概要

- 【新潟県部会】平成26年12月15日（月）15:00～17:00
- 【富山県部会】12月11日（木）15:00～17:00
- 【石川県部会】12月18日（木）15:00～17:00
- 〔開催地〕北陸地方整備局、富山河川国道事務所、金沢河川国道事務所
- 〔出席機関〕
  - 〔行政〕北陸地整、各県労働局・土木部・教育委員会、新潟市
  - 〔建設産業〕日建連北陸支部、各県建設業協会、建設コンサルタツ協会北陸支部、各県測量設計業協会
  - 〔教育〕建設系大学（長岡技術科学、富山、富山県立、金沢、金沢工業）、高専（長岡、石川）、建設系高校（新潟工業、新発田南、富山工業、桜井工業、高岡工芸、金沢市立工業）
  - 〔オブザーバー〕各県地質調査業協会、日本道路建設業協会北陸支部、石川県、建設産業連合会



新潟県部会



富山県部会



石川県部会



## 検討概要

- 各県部会でコンテンツの具体化を引き続き進め、**年度内に来年度の取組を固めて全体協議会にて共有する。**
- 大学は、連続講座(地域の物語、反転授業等)を提案し、長岡技大、長岡高専、富山県立、金沢、金沢工業大学で来年度実施検討。**  
**高校は、連続講座のコマを確保困難なことが分かり、現場見学＋現場実習のような1コマ企画を各学校毎に検討。**  
**保護者現場見学・意見交換会(新潟工業実施)は、学校側から保護者の理解を深める取組として高評価を得ており、継続・実施校拡大を検討。**  
**現場見学、インターンシップ等の情報を協議会で共有、学校側に提供する仕組みを検討。**
- 一般の方々へのアプローチについては、引き続き検討を進める。  
保護者：**保護者の理解を深めることが重要。**親子見学会の開催等を積極的に進める。  
高校：**給料・処遇等のシビアな見方をしているのが現実であり、建設界の労働環境を伝える取組も重要。**  
**先生への理解を深めることが必要。**普通高校を含め、現場見学会等土木に興味を持たせるキッカケが必要。  
小中校：災害の現場などで活躍する姿を見せる取組が効果的。  
一般：社会資本の重要性PR（イメージ転換）、富山県が力を入れているインフラツーリズムをさらに発展できないか検討。

# 各県部会の議論を踏まえた今後の活動構造

普通高校・中学・小学校  
(保護者や教員等含む)

建設系の高校等

建設系の大学等

マスコミ等と連携した情報発信が必要かつ効果的であり、認知と拡散には効率的

実際の現場を自分の目で見て、建設界の魅力、働く先輩方の頼もしさを体感する

協議会が連携し、座学から実習まで連続講座を開設し、建設界の魅力の深く知る

- 現場見学、出前講座や教材配付など建設界への理解と魅力の拡散を図る
- 新聞、テレビ等を活用し建設界の魅力を発信(インフラツーリズム等)

現場見学や実習等を通して、土木スケール感や先輩から魅力を直接聞く

1. 地域の物語講座
2. 反転授業(事前学習)
3. 現場見学
4. 校内・現地実習
5. 意見交換

インターンシップの充実

情報発信・情報共有【Webポータルサイト等】